



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社
 コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 伊部 幸顕
 (氏名) 森山 茂

上場取引所 東
 TEL 03-3661-1039

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	12,859	△4.5	897	△36.3	1,087	△31.2	889	△13.6
24年3月期第1四半期	13,460	15.0	1,408	299.5	1,579	245.2	1,030	390.9

(注)包括利益 25年3月期第1四半期 1,223百万円 (△20.5%) 24年3月期第1四半期 1,538百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	21.52	—
24年3月期第1四半期	24.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	76,126	31,219	40.8	751.30
24年3月期	75,201	30,494	40.4	734.06

(参考)自己資本 25年3月期第1四半期 31,061百万円 24年3月期 30,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	11.00	—	12.00	23.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,000	1.6	1,800	△33.0	1,900	△27.2	2,000	14.3	48.37
通期	56,000	5.3	4,600	0.7	4,500	1.9	3,200	11.8	77.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	48,290,173 株	24年3月期	48,290,173 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	6,946,453 株	24年3月期	6,945,027 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	41,344,448 株	24年3月期1Q	41,351,960 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 新薬パイプラインの状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要に伴い、企業収益や個人消費の一部が回復傾向にあるものの、欧州財政不安の深刻化や円高の長期化などの懸念材料も多く、先行き不透明な状況下で推移いたしました。

医療用医薬品業界におきましては、本年4月に薬価改定が行われるとともに、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が引き続き推進されており、またOTC医薬品市場におきましても消費低迷により市場競争が激化するなど、ともに厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は128億59百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。一方、利益につきましては、売上高の減少ならびに広告宣伝費をはじめとして販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益8億97百万円（前年同四半期比36.3%減）、経常利益10億87百万円（前年同四半期比31.2%減）、四半期純利益8億89百万円（前年同四半期比13.6%減）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の海外売上高比率は、12.7%（前連結会計年度12.2%）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」は、海外におきましては引き続きティロッツ・ファーマ社（Tillotts Pharma AG、以下「Tillotts社」）の自販体制の推進により営業力を強化するとともに、国内におきましても市場浸透に一層注力したことにより売上を拡大し、市場シェアを伸長させました。一方、H2受容体拮抗剤「アシノン」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック」などの製品は、本年4月の薬価改定の影響を受けて苦戦いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は80億19百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である「ヘパリーゼ群」につきましては、昨年発売を開始いたしましたコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼW」（清涼飲料水）が好調に推移するなか製品認知度がさらに向上し、売上を大きく拡大いたしました。また植物性便秘薬「ウィズワン群」につきましても、テレビCM及びそれに連動した店頭販売促進活動の効果により製品認知度が向上し、売上を拡大いたしました。一方、「コンドロイチン群」につきましては、引き続きテレビCMを放映するなど販売活動に注力し、圧倒的な市場シェアを堅持しましたが、個人消費の低迷などの影響を受けて苦戦いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は47億89百万円（前年同四半期比11.7%減）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入等により、当事業の売上高は50百万円（前年同四半期比5.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は761億26百万円となり、前連結会計年度末対比9億25百万円の増加となりました。その内訳は流動資産が279億97百万円で、前連結会計年度末対比7億74百万円の増加、固定資産が481億29百万円で、前連結会計年度末対比1億51百万円の増加となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の増加3億6百万円、受取手形及び売掛金の増加4億46百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加3億33百万円、未収入金等流動資産のその他の減少3億8百万円等であります。また、固定資産の増減の主なものは、有形固定資産の増加2億19百万円、無形固定資産の減少25百万円、投資その他の資産の減少43百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は449億7百万円となり、前連結会計年度末対比2億円の増加となりました。その内訳は流動負債が254億6百万円で、前連結会計年度末対比5億80百万円の増加、固定負債が195億円で、前連結会計年度末対比3億79百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加1億78百万円、短期借入金の増加13億25百万円、未払法人税等の減少8億87百万円、賞与引当金の減少8億63百万円、未払費用の増加等流動負債のその他の増加8億49百万円等であります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少3億97百万円等であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は312億19百万円となり、前連結会計年度末対比7億24百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上8億89百万円、前期末配当の実施4億96百万円、その他有価証券評価差額金の減少4億74百万円、為替換算調整勘定の増加8億5百万円等によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.4%上昇し、40.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期第2四半期（累計）の営業利益、経常利益、当期純利益ならびに1株当たり当期純利益について、平成24年5月15日発表の連結業績予想を修正しております。詳細は、平成24年8月8日発表の「平成25年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これに伴う当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,713,399	6,020,064
受取手形及び売掛金	12,605,946	13,052,719
商品及び製品	3,696,287	3,703,711
仕掛品	578,912	625,360
原材料及び貯蔵品	1,793,052	2,072,286
その他	2,857,148	2,548,999
貸倒引当金	△21,443	△25,679
流動資産合計	27,223,302	27,997,461
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,397,257	6,519,144
土地	11,561,618	11,627,234
その他（純額）	3,089,619	3,121,980
有形固定資産合計	21,048,495	21,268,359
無形固定資産		
のれん	11,846,292	11,904,720
その他	1,261,602	1,178,089
無形固定資産合計	13,107,895	13,082,809
投資その他の資産		
投資有価証券	9,767,121	9,506,748
その他	4,119,752	4,337,618
貸倒引当金	△65,402	△66,276
投資その他の資産合計	13,821,470	13,778,090
固定資産合計	47,977,862	48,129,259
資産合計	75,201,165	76,126,721
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,344,145	3,522,756
短期借入金	14,838,164	16,163,220
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
未払法人税等	1,519,041	631,175
賞与引当金	1,377,199	513,575
返品調整引当金	112,917	103,800
売上割戻引当金	207,551	195,190
その他	3,227,070	4,076,868
流動負債合計	24,826,089	25,406,587
固定負債		
長期借入金	19,123,247	18,725,400
退職給付引当金	146,257	146,933
資産除去債務	72,395	72,555
その他	538,421	555,879
固定負債合計	19,880,320	19,500,767
負債合計	44,706,409	44,907,355

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	5,414,745	5,414,745
利益剰余金	27,649,621	28,043,025
自己株式	△7,312,575	△7,314,488
株主資本合計	32,345,190	32,736,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,472,509	△1,947,335
繰延ヘッジ損益	4,664	△6,264
為替換算調整勘定	△527,524	278,256
その他の包括利益累計額合計	△1,995,370	△1,675,344
少数株主持分	144,934	158,029
純資産合計	30,494,755	31,219,366
負債純資産合計	75,201,165	76,126,721

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	13,460,154	12,859,548
売上原価	4,877,777	4,616,367
売上総利益	8,582,377	8,243,180
返品調整引当金戻入額	137,817	112,917
返品調整引当金繰入額	133,027	103,800
差引売上総利益	8,587,167	8,252,297
販売費及び一般管理費	7,178,733	7,354,843
営業利益	1,408,434	897,454
営業外収益		
受取利息	1,174	1,619
受取配当金	161,045	171,314
為替差益	73,523	31,880
その他	19,181	66,703
営業外収益合計	254,925	271,518
営業外費用		
支払利息	73,704	71,215
その他	9,879	10,086
営業外費用合計	83,583	81,301
経常利益	1,579,776	1,087,670
特別利益		
固定資産売却益	—	39
受取補償金	—	250,000
特別利益合計	—	250,039
特別損失		
固定資産除却損	13,315	213
災害による損失	18,297	—
特別損失合計	31,613	213
税金等調整前四半期純利益	1,548,163	1,337,496
法人税等	516,232	449,073
少数株主損益調整前四半期純利益	1,031,931	888,423
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,768	△1,122
四半期純利益	1,030,162	889,546

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,031,931	888,423
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,366	△474,825
繰延ヘッジ損益	△7,143	△10,929
為替換算調整勘定	518,897	820,494
その他の包括利益合計	506,387	334,738
四半期包括利益	1,538,318	1,223,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,525,385	1,210,067
少数株主に係る四半期包括利益	12,933	13,094

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	7,981,541	5,424,809	13,406,351	53,803	13,460,154	—	13,460,154
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	27	27	87,245	87,272	△87,272	—
計	7,981,541	5,424,836	13,406,378	141,049	13,547,427	△87,272	13,460,154
セグメント利益	1,890,040	703,064	2,593,104	32,173	2,625,278	△1,216,843	1,408,434

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,216,843千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,019,219	4,789,482	12,808,702	50,846	12,859,548	—	12,859,548
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	35	35	104,667	104,703	△104,703	—
計	8,019,219	4,789,518	12,808,738	155,513	12,964,251	△104,703	12,859,548
セグメント利益	1,547,727	407,043	1,954,771	39,967	1,994,738	△1,097,284	897,454

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,097,284千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	8,019,219	0.5
コンシューマーヘルスケア事業	4,789,482	△11.7
報告セグメント計	12,808,702	△4.5
その他	50,846	△5.5
合計	12,859,548	△4.5

(注) 1.セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2.金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成24年8月9日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	Z-338/ アコチアミド	共同開発 (アステラス製薬)	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品 予定製品名 アコファイド
フェーズⅢ	Z-103/ ポラブレジンク	自社	味覚障害 プロマック効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅡ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	クローン病 アサコール効能追加	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅠ準備中	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK2 受容体拮抗作用	自社品 アジア同時開発

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
申請中	Z-521	自社	くる病・骨軟化症を伴う 低リン血症	リン酸補充 未承認薬開発支援対象 希少疾病用医薬品	自社品 予定製品名 ホスリボン
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ ステロイド配合剤	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認 (韓国)	Z-103/ ポラブレジンク	導出 (SK Chemicals)	胃炎・胃潰瘍 プロマック	胃粘膜保護作用	導入品
フェーズⅢ (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma)	潰瘍性大腸炎 アサコール	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ準備中 (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ準備中 (欧州、アジア)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK2 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品：自社グループオリジナル品